

# 法学会だより

二〇〇五年一月～二月

著書・論文・翻訳など

第七三回研究会 二月二八日(月)

蓮池 穰 「行政学と私——札幌学院大学における研究・教育をふりかえって——」

小沢 隆司 (論文) 「日本近代法史学における商法史の地位——福島正夫の初期構想とその射程」奥島孝康・

宮島司編『商法の歴史と論理(倉澤康一郎先生古希記念)』新青出版、二〇〇五年七月

第七四回研究会 六月一六日(木)

馬奈木巖太郎 「戦後補償裁判の現状と憲法学の課題」

(書評) 「藤原明久著『日本条約改正史の研究——井上・大隈の改正交渉と欧米列国』」『日本歴史』六八九号、吉川弘文館、二〇〇五年一〇月

第七五回研究会 七月二二日(木)

嶋田 佳広 「住居費の定型化とドイツ公的扶助改革の動向」

(共著) 家田愛子編著『18歳からの教養ゼミナール』北樹出版、二〇〇五年四月

第七六回研究会 一〇月二〇日(木)

神谷 章生 「グローバル化と貧困化する市民社会——ヨーロッパ型福祉レジームの耐性を考える——」

清水 敏行 (論文) 「韓国の政治と市民運動」『韓国における市民意識の動態』小此木政夫編、慶應義塾大学出版会、二〇〇五年三月

第七七回研究会 一一月一七日(木)

笹川 敏彦 「合併比率の不正と合併無効原因(最判平成五年一〇月五日資料版商事一一六号一九六頁)」

(論文) 「民主体制定着期の韓国における政治と市民社会(三)」『札幌学院法学』第二二卷第一号、二〇〇五年一月

五年一〇月五日資料版商事一一六号一九六頁」

頁」

(翻訳) 「鄭正佶 大統領の経済リーダーシップ(一)」『札幌学院法学』第二二卷第二号、二〇〇五年三月

(翻訳)「鄭正佶 大統領の経済リーダーシップ  
(二)」「札幌学院法学』第二二卷第一号、二〇〇  
五年二月

(翻訳)「金永來 韓国における市民社会運動の  
現況と発展課題」『札幌学院法学』第二二卷第二  
号、二〇〇五年三月

(翻訳)「洪日杓 韓国の一七代総選挙と市民運  
動」『札幌学院法学』第二二卷第二号、二〇〇五  
年三月

嶋田 佳広 (論文)『ドイツ社会法典第2編・第12編にみる  
2005年の公的扶助法改革』賃金と社会保障1  
406号九頁(二〇〇五年一月)

洞澤 秀雄 (共著)「行政計画とは?」「水害と国家賠償法2  
条」藤井俊夫・黒川哲志ら編著『はじめての行  
政法』(成文堂、二〇〇五年)一一七―一二八頁、  
一六三―一七四頁

(判例評釈)「福井県旅費違法法支出住民訴訟上告  
審判決(平成16・12・7最高三小判)」法令解説  
資料総覧281号(二〇〇五年)一〇〇―一〇  
三頁

笹川 敏彦

(論文)「持株会社方式によるヨーロッパ会社の  
設立」『法と政治』(関西学院大学法政学会)五  
五卷三号五五頁―一一五頁(二〇〇四年九月三  
〇日発行(二〇〇五年四月発刊))

鈴木 敬夫

(論文)「法の効力……G・ラートブルッフの法  
哲学的効力」、『札幌学院法学』第二二卷第二号、  
二〇〇五年三月

(論文)「論法的効力以拉德布魯赫敵法哲学効力  
論中心」、『自然法理論与拉德布魯赫法思想』  
(第三届全国西方法律思想史研究年報)、汕頭大  
学法学院、二〇〇五年四月

(論文)「국기 및 국가에 관한 법률에 관하여」  
(国旗および国家に関する法律について)、『韓  
中・日三国의 西欧法の 受用과 定着』(第二〇回  
Jurist Forum 論文集)、韓国忠北大学校法学研  
究所、二〇〇五年六月

(論文)「法人の刑事責任小考……中国と韓国に  
おける論点素描」、『罪と罰・非情にして人間的  
なるもの』小暮得雄先生古希記念論文集、信山  
社、二〇〇五年八月

(論文) 「良心の自由について……杜鋼建著《新仁学……儒家思想与人権憲政・二〇〇年》を読む」、『札幌学院法学』第二二卷第一号、二〇〇五年一月

(翻訳) 「東アジアにおける死刑廃止論考……韓寅燮、金政友、李震山、剗作俊、傳義・陳林林、趙秉志の所説」(3)、『札幌学院法学』第二二卷二号、二〇〇五年三月

(翻訳) 金澤文雄 「死刑廃止の提唱(一九九九年)」、ハングル文、『札幌学院法学』第二二卷二号、二〇〇五年三月

(翻訳) 「梁啓超の人権思想……杜鋼建著《中国近百年人権思想(二〇〇四年)》」、『札幌学院法学』第二二卷一号、二〇〇五年一月

(翻訳) 黄山徳著『法哲学講義』第四訂版一九八五年(一)、『札幌学院法学』第二二卷一号、二〇〇五年一月

(翻訳) 沈憲燮「石寓 黄山徳における自然法と法実証主義(二〇〇一年)」、『札幌学院法学』第二二卷一号、二〇〇五年一月

(評論) 「自然法と事物の本性……法整備支援と寛容」、『CALE NEWS』No.15 (名古屋大学法政国際教育協力センター)、二〇〇五年一月

### 研究発表・講演など

清水 敏行 (シンポジウム) 第四回日韓フォーラム「韓国における市民社会運動と民主的ガバナンスの影響」(金永來・亜州大学政治外交学科教授の講演。コメンテーター担当)、北海大法学部、高等法政教育研究センター会議室、二〇〇五年七月二〇日

竹野谷みゆき (研究発表) 'Speech act of 'commenting' in the media discourse: Sequencing of commentary sentences and organization of newspaper column articles. 第6回国際語用論学会 イタリア リバ・デル・ガルダ 二〇〇五年七月二一日

笹川 敏彦 (研究発表) 合併比率の不正と合併無効原因、関西学院大学商法研究会、関西学院大学、二〇〇五年一月一四日

鈴木 敬夫

(研究発表) “Kriminale Schuld der juristischen Person und Todesstrafe in China”: Institut für Kriminologie und Wirtschaftsstrafrecht, Albert-Ludwigs-Universität Freiburg Deutschland, am 7 März 2005.

(学会報告) 「論法の効力……拉德布鲁赫的法哲学現代意義」、中国全国西方法律思想歴史研究会、汕頭大学法学院(中華人民共和国)、『二〇〇五年四月二三日

(研究発表) 「국기 및 국가에 관한 법률에 관하여」忠北大学校法学研究所(大韓民国)、『二〇〇五年六月二二日

(學術報告) “Todesstrafe und Menschenwürde…… Theorie Abschaffung der Todesstrafe in Ostasien”; Universitätsbibliothek Wien organisierten Forum. Forum Fur Bürger: Rechtssysteme in fremden Kulturen, Österreich, am 7 September 2005.